

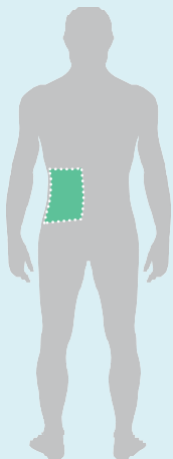
# 全層熱傷の治療にRECELL<sup>®</sup>を使用する事で、従来の植皮術に比べ、採皮面積が40%縮小

CASE STUDY / Jeffrey Shupp, MD / MedStar Washington Hospital Center, Washington, DC

## 患者の状態

熱湯と蒸気による混合深度熱傷を左上腕、背部および左脇腹に受傷した68歳女性。  
 本症例では、背部に対する3倍網状分層植皮 (STSG) と腰部に対する Spray-On Skin<sup>™</sup>を使用したRECELLと4倍網状植皮併用の比較を行った。

## RECELL治療部位



## 結語

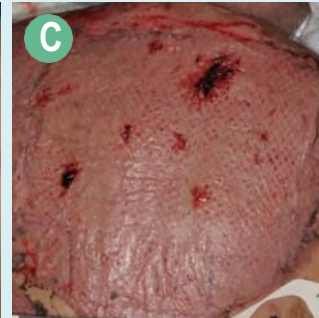
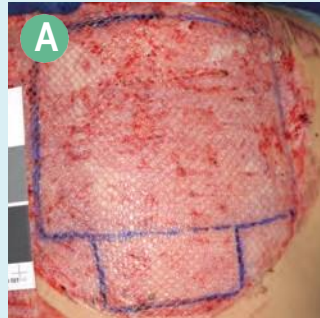
!"#\$%&'()\*+,-.  
 / 0 1 2 3 4 5 6 ( 7 8 9  
 : ; < = > ? @ A B C D E F G  
 H I J K L M N O P Q R  
 S T U V W X Y Z [ \ ]

植皮術実施後

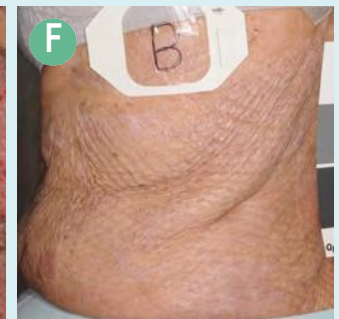
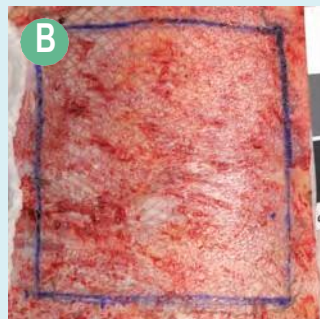
術後1週間

術後52週間

Control 3:1 meshed STSG



Spray-On Skin<sup>™</sup> Cells + 4:1 STSG



## 治療法

この患者の治療は前向き無作為対照化試験の一環として行われました。接線切除を治療部位で行い、2つの治療法の内の1つを適用しました。治療部位Aでは3倍網状分層植皮術 (図A) を行い、治療部位BにはRECELLで Spray-On Skin<sup>™</sup> Cells を作成し、4倍網状分層植皮術と組み合わせて使用しました (図B)。どちらの治療部位も Telfa<sup>™</sup> Clear で被覆し、その上から Xeroform<sup>™</sup> と厚みのあるドレッシング材による被覆を行いました。

## 臨床的アウトカム

3倍網状分層植皮術単体での治療に比べ、Spray-On Skin<sup>™</sup> Cells と4倍網状分層植皮術の併用では、採皮面積が40%減少しました。両方の治療部位とも80-90%の再上皮化が術後1週間 (図C・D) で得られ、術後2週間で完治しました。患者と観察者による創部評価指標 (POSAS) では、疼痛、搔痒感、色調、硬さについて同等の評価となり、時折RECELL治療部位の方が優れた評価が出ました。長期に渡った耐久性に関する問題は報告されていません (図F)。

本紙に掲載している症例は、臨床成績の一部を紹介したものです。全ての症例で同様の効果を保証するものではありません。

